

学校区分	学年	〇〇県の観光アンバサダーとして〇〇県の魅力を発信しよう！			山口県立防府商工高等学校
高等学校	3				
教科名	科目名	単元名	授業時間目安		活用したRESASデータ（マップ名等を記入）
商業	観光ビジネス	観光資源の発見と活用	6	時間	観光マップ、人口マップ、産業構造マップなど

目的やねらい、背景や経緯		目的・ねらい RESASを活用することで、エビデンス（根拠）にもとづいた正確なデータから、ターゲットの特徴や傾向を導き出せる思考・判断・表現力を育む。 今回の学習に入るまでの経緯 (1) RESASは当該科目「観光まちづくりと地域の活性化のプロセス」の単元で掲載されている。はじめに、経済産業省中国経済産業局のRESAS出前講座を活用し、RESAS基本的操作を学習した。 (2) (1)の学習を踏まえ、自分の地域（山口県や防府市）の観光について、RESASや他の統計資料を用いて傾向を学習した。	
取組内容	概要	授業の構成・カリキュラム等	活動の様子
	自分の地域（山口県、防府市）の観光についてのRESASを活用した学習を応用するかたちで、他県の観光について探究を行う。「その県について知識ゼロ」の人たちを対象とすることを想定して、わかりやすく担当の県の特徴や魅力を伝える。 課した条件 ・RESASを使い、データから読み取れる担当県の特徴を話し合い、考察する。 ※インターネットからの情報を取捨選択することだけが目的ではなく、データを元に自分たちが話し合い、考察することが大切であることを強調して伝える。 ・データから読み取れる担当県の特徴および観光資源（自然資源・人文資源）を紹介するプレゼンを行う。	(1) 47都道府県を挙げてみる。 (2) Googleフォームを用いて、観光したい都道府県のアンケートをとり、共有する。※生徒が挙げた都道府県は10都道府県程度に収まった。(1)で早くに上がった県と(2)のアンケートに上がった県の相関関係が非常に高かった。 (3) (2)で挙げた都道府県と、隣接する県を除いて、山口県の高校生にとってなじみがないと思われる県について、入札制で担当の県を決めていく。（座席順二人一組） (4) 今まで一斉に学習してきたRESASの使い方を活かし、観光マップをはじめ、さまざまなアプローチでデータから担当の県の特徴を見つける作業を行う。プレゼン対象は「その県に対する知識はゼロ」だという前提に立つことを確認し、プ資料を作成する。 (5) 1番目にプレゼンを行うグループ決めを行い、その後はプレゼン終了したグループがくじで次のプレゼングループを決めていく方式で進めた。	RESAS 観光マップ 外国人滞在分析 （生徒の考察）熊本市の訪日外国人数が2021年7月から大きく上昇しているのは、2016年熊本地震で被害を受けた熊本城修復が完了し、天守閣一般公開が2021年6月28日から再開されたことが大きく関係している。
成果（発見・気づき）及び課題		成果 自分の地域についてRESASを用いた学習後の課題かつ、二人一組の活動としたため、課題についてのとまどいは見られなかった。「自分ごと」として捉えて活動する生徒が大半で、事後の振り返りも肯定的で、年間の学習活動のなかでも充実した手応えがあった。 課題 ブラッシュアップさせたい点として、次年度以降は、自分の地域（山口県）との比較の項目を入れるようにしていきたい。また、各都道府県の観光政策にも触れるようにしていきたい。	